「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者たもいろいろな仕事があって、自分は記者が自分の書きたい記事をかいていると思っていたので担当があり、さらに何度も転勤があって担当の変更もあると知って早川さんがおっしゃっていて自分が得意な分野だけでなく、いろいろな分野の知識が必要なので大変な仕事だと思いました。いろんな人が協力して作りあげている記事なんで自分も新聞を読もうと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

1日に多くの記者の人々が情報を調べて、しっかりまとめて1つの新聞にまとめ上げているところがとてもすごいと思った。インターネットでの情報は1時間ほどでできてしまうのに長いもので1か月もかかっているのは驚いて記者の人たちはすごいなと思った。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

普段新聞は難しいと思って読まないけど、今日の講演を聞いて新聞に対する印象が変わりました。できるだけわかるように書いてあると知って少し読んでみたいと思いました。興味関心を持つことが大事だという話がとても心に残りました。そして私もそんな風にこれから過していきたいと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞の記事が、社会を変えるというのはとても興味深いなと思いました。1つの記事でも、たくさんの手間をかけて取材しているということを知りました。私の家でも新聞を買っていて、毎日ほとんど休むことなく届けられるので、どうやってこんなに書いているんだろうと思っていました。たくさんの人が関わって作っている新聞なのに、私はあまり読んでこなかったので、読んでみようと思いました。今回は、新聞記者という仕事についてお話を聞いたけれど、色々な職業に共通している部分もあるんじゃないかなと思いました。最後におっしゃっていた、色々なことに挑戦してください、というのは今の私にとても響きました。今しかできないことを、いつかのためにやらなければならないなと感じることができました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者のおもしろさみたいなのを一部見れたような感じでちょっと記者もおもしろいかもと思った。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日の講演を聞いて、新聞が出来るまでの課程や、正確な情報を報道するための工夫、更には新聞記者の一日のスケジュールなど、新聞の裏側の今まで意識していなかった新聞記者の大変さや努力を知ることが出来ました。また、興味を持つことの大切さのような私たちに直接関係してくることについても話していただき、私は興味のないことは全く興味を持たない性格なのですが、この講演で違うものにも興味を持ってみようと思いました。本日は講演していただき、ありがとうございました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私の家は新聞を取っていないのですが、近所の人は新聞を取っていて、今はニュースを見れば情報(時事のネタ)は分かるし、入取できるのにどうして取っているのだろう…??と思っていたのですが、今回の話を聞いて、新聞にはニュースには取りあげられない、地域の話やこんなことがあったのか！というイベントについて、身近なことや歴史のことなど、一刊の新聞にたくさんの情報がつめられていてそれが今回の話を聞いて、より伝わってきました。それと、自分の足で調べて記事にするという作業が早川さんにとってとても興味を起こさせ、楽しいものだということがわかり、新聞記者という仕事にも興味が湧きました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

普段テレビや新聞から得ている情報を発信する背景にこれらは一人で成り立つものではなくて、政治、文化、社会的なトレンドなどさまざまな分野に対してたくさんの人が関わることで完成していて、大切な仕事の分、責任や忙しいことがタイヘンだなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者がどんな取材するのか、どんな内容を取材しているのかなど、自分が今まで知らなかった新聞記者の仕事について知れたのですごくおもしろかったです。取材をしていく中で、様々なことを学びながら、新聞記者としてまた、人として成長していけるのだなと思いました。また、最後に早川さんが「興味のないことでも、やるべき」「やっていたら良かったと後悔することがあった」とおっしゃっていたのを聞いて、私もいろんなことに挑戦して、興味のあるなしに関係なく学んでいく必要があるとわかりました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者って私のイメージではずっとインタビューして記事がいての繰り返しで、つらい仕事だと思っていたけど、今回の話を聞いてつらいこともあるけどいろんなことを知れるし、普通に過ごしていたら会えないような人に会えたりできて楽しそうだなと思いました。私の家ではすこし前までは新聞を買っていたけどもう買っていなくて読むこともないけど、また家に残っているものやコンビニとかで買って新聞を読んでみようと思いました。そして読んで自分の興味がわくような記事を見つけたいです。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

普段は新聞を書いている人のことは全く考えずに読んでいたけど、今日、早川さんの話を聞いて、あの短い文章の中にはたくさんの物語があるんだなと思いました。記事にする前に何度も取材をくり返したりすることで、日本中、世界中での出来事を、とても身近に感じることができると聞き、いい仕事だなと思いました。早川さんが言っていたとおり、今、勉強をしっかりとせずにあきらめていると、将来絶対に後悔するときが来ると思うので、今はつらくてももっともっと勉強に力を入れて頑張っていきたいと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者は昼ご飯が2時くらいになるというのを聞いて、大変そうだなと思いました。また、新聞記者になるためには、何事にも興味をもつことが大切だということを教わりました。いろんな経験が仕事につながっていくんだと感じました。私は今興味のあることがないから、とりあえず将来の夢キャリアウーマンって決めてるけど、これからの人生で、興味のあることを見つけたいなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

記者という仕事は、基本大変だというイメージがあって、自分の認識では、本当に好きじゃないと簡単にこなすことはできないと思っていましたが、実際に話を聞いてもやっぱりそうかと思いました。でも、好奇心や、やってみたいなという気持ちがやっていくにつれて、楽しい、やりがいがあるこの仕事が好きだというふうになっていくのだと思うことができました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

からすてんぐの記事を書いた際に「夢をこわすな」という感じで批判が来たというエピソードが心に残っています。自分の仕事に対して批判がくるというのはとても辛いことだと思うけど、それでも情報を伝えたいという一心で仕事をし続けられたのはとてもすごいことだと思いました。あまり新聞記者という仕事についてくわしく知らなかったけど色々と知ることができたので良かったです。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞をつくるのにすごく多くの人、
手間がかかっていると知り、そんな
にも手のこんだものなのか、と思いました。
また、新聞が思っていたよりも昔、
これまでの発行部数も思っていた
より多くおどろきました。

見ました

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日の講演を聞き、普段あまり新聞は読まないけど、読んでみようと
思えることができました。自分で勝手に新聞にはニュースや事件の話しかなく、
自分が理解をすることが難しいような記事しかないと思ってしまっていたけれど、
思っている以上に新聞にはおもしろい記事があって、事件などの重たいもの
だけでなく、地域に合わせた記事などもあると知ることができました。
これまであまり手にしなかったけど、朝の数分だけでも少し目を通す
だけでたくさんの情報を得られることが分かったので、これから意欲的に
読んでみようと思いました。

見ました

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者の仕事内容についてはじめて詳しく知ることができました。私は普段あまり新聞を読まないけれど新聞について知り読んでみようと思わされました。また早川さんが新聞記者の仕事について楽しそうに話されていて、仕事にやりがいを持つことの大切さを実感しました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者の方から直接話を聞くのは初めてで、全国いろんな所に取材に行ったり、それを1日で紙に書き上げたりとものすごく大変だなと思うし、新聞の中では小さな見出しでもそれを作るためにはたくさんの人が関わっていると知って、私の家では新聞を取っているけれど、私自身はあまり読めていなかったので、早速今日家に帰ったら、しっかりすみずみまで読んでみようと思いました。普段はなかなかできない経験なのでとても良い機会になりました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私の家でいつも取っている読売新聞の話だったので歴史だったり、新聞ができるしくみなどを知れておもしろかったし、家に帰ったらまた新聞を読もうかなと思います。自分たちの生活にあたりまえにあるものでもしくみとか詳しいことは分からないものが他にもあったりするのでまたの機会に調べられるといいなと思います！普段はなかなか知ることのできない新聞記者さんのお仕事について知れてよかったです！学校に新聞が置いてあるということなのでまた機会があればすにとって読んでみようと思いました！

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今回の講演を聞いて、新聞の高い信ぴょう性の裏には、デスクなどによるチェックがあることが分かりました。また、新聞には、事件や事故の記事だけでなく、文化や娯楽のことも記事になっていることを知って、試しに新聞を一通り読んで、興味があることを探してみるのもいいと思いました。